



3学年創造類型「課題研究Ⅱ」 および人文・理数類型「総合的な探究の時間」 最終発表会

7月21日(木)に、第1・2体育館と南校舎各教室にて、令和4年度「課題研究Ⅱ」「総合的な探究の時間」最終発表会を開催しました。

他者とのコミュニケーションを通じて、課題の意義や価値を再認識するとともに、自己の在り方生き方を考え、社会と自己との関わりからよりよい社会を実現しようとする態度を身に付けること、また、気仙沼高校全体として、縦のつながりをつくり、研究への多角的な見方を養うことを目的とし、成果発表(3年生創造類型は英語による発表も交えながら)に臨みました。コロナ禍の中、昨年同様感染症対策を十分にしながらの実施となりましたが、限られた時間の中で、いかに研究内容を伝え、関心を持ってもらえるか、生徒のみなさんは創意工夫を凝らしながら発表していました。

参観者の方々からは、「先行研究を押さえ、アンケートや聞き取り調査の結果を踏まえ考察されたものが多く、レベルが高かった」「研究のスキルが身につく、人間としての成長を感じた」などのご感想や、「テーマの意義付けを問いかけるようにしてほしい」「生徒同士の質疑応答がもう少しあるとよい」など、今後の研究活動の向上に向けての具体的なご意見をたくさんいただきました。

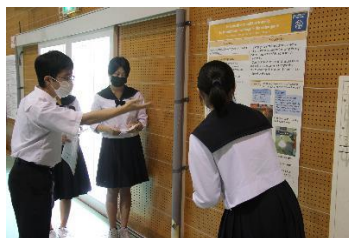
●最終発表会を終えた後の、生徒の感想(抜粋)

・沢山の人の話を聞きに行き、コミュニケーション能力を向上させることができた。スポンジケーキを何度も試作したことで、挑戦することの大切さと難しさ、またそれ以上の楽しさを学んだ。最後のプレゼンを通して、自分がこれだけ堂々と発表できることに驚き、それが大きな自信につながった。

・規模の大きなデータを自分たちでひとつずつ丁寧に集計し、それを統計的知識を駆使して活用・編集するスキルを身につけることが出来た。

<当日の様子>

・いくつかの着眼点を組み合わせて、自分ならではのテーマを生み出すことができた。色々な文献を見て、文献を読む力と自分の課題の解決法の糸口を探ることができた。学校にアンケートを取り、様々な意見を知ることができた。



・研究全体を通しては、(つたえる)(つきとめる)(つきぬける)の3点が主に身についたと思います。調査する上で自分の地域への理解度が高くなっていくと共に地域愛も高くなっていきました。今日の発表も内容は完璧ではないものの身についた力を活かして伝えることができました。あと、個人的には海洋大の佐々木先生にとっても褒められたので嬉しかったです。課研は終わっても学び自体は終わらないので今後もこれらの力を活かしていきたいと思います。

